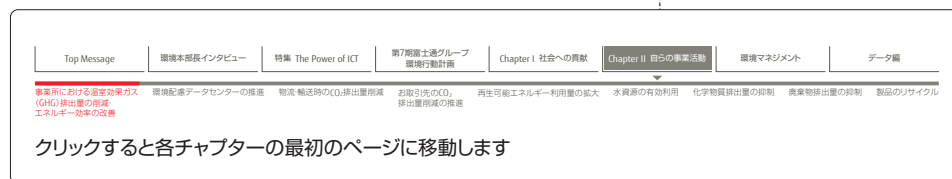
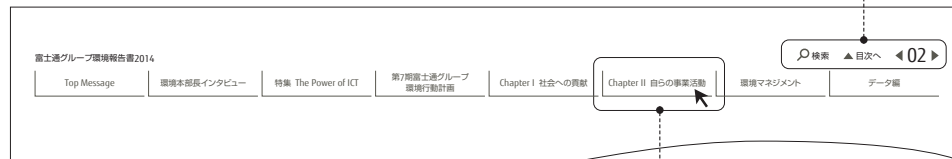
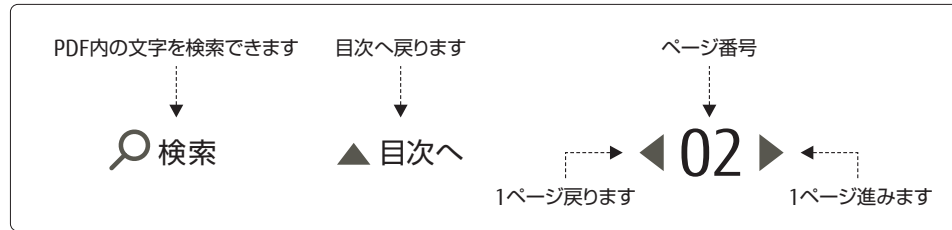


Top Message	環境本部長インタビュー	特集 The Power of ICT	第7期富士通グループ環境行動計画	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
-------------	-------------	---------------------	------------------	------------------	--------------------	----------	------

ユーザーガイド



アンケートのお願い

本報告書に関する皆様からのご意見を募集しています。お寄せいただいたご意見は統計データとして、さらに良い報告書の作成に活用させていただきます。ご協力のほど、よろしくお願いたします。

WEB <http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/communication/report/2014/>

編集方針

「富士通グループ環境報告書2014」では、社会からの期待・要請および富士通グループにおける重要な環境側面を基に策定した「第7期富士通グループ環境行動計画」(2013年度～2015年度)に沿って、環境課題認識と取り組みアプローチ、2013年度の実績と主な活動内容、今後の計画を中心に報告しています。主要なデータに関しては第三者機関による審査を受けたほか、指標に関する第三者所見の掲載などにより、記載内容の信頼性・透明性の向上に努めました。加えて、横型の紙面構成により、パソコンやタブレット端末での読みやすさに配慮しました。

■ 報告体系

富士通グループは読者の皆様のニーズに応じ、情報の網羅性にも配慮した詳細なレポートと、重要なポイントを簡潔にまとめたレポートを提供しています。また、最新の情報はウェブサイトにて随時掲載しています。



■ 主な報告範囲の変更

事業譲渡に伴い、富士通インテグレートドマイクロテクノロジー株式会社を報告対象外としました。

■ 使用・参考にしたガイドライン

- GRI「サステナビリティレポート・ガイドライン第3.1版(G3.1)」および「G4サステナビリティレポート・ガイドライン」
- 環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
- 環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」

■ 発行

2014年7月(次回予定:2015年7月、前回2013年7月)

■ 報告期間

2013年度(2013年4月1日から2014年3月31日)の活動を中心に報告しており、記載しているデータは、その実績値です。ただし、それ以外の期間の内容も一部含まれます。

■ 本報告書の想定読者

特に環境分野に関心が高い、お客様、社員、株主・投資家、お取引先・事業パートナー、国際社会・地域社会、公共機関、行政などのステークホルダーの皆様方およびCSR調査機関などの専門家の方々を読者と想定しています。

■ 報告対象組織

富士通と環境マネジメントシステムを構築している連結子会社を中心とした合計114社(海外含む)を対象としています。

▶ 環境活動に関する報告対象組織の一覧表

▶ 環境パフォーマンスデータ算定基準

お問い合わせ先

富士通株式会社 環境本部
〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/contact/>

将来に関する予測・予想・計画について

本報告書には、富士通グループの過去と現在の実績だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これら予測・予想・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、これらには不確実性が含まれています。したがって、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が本冊子に記載した予測・予想・計画とは異なったものとなるおそれがありますが、富士通グループは、このような事態への責任を負いません。読者の皆様には、以上をご承知いただくようお願い申し上げます。

「富士通グループ環境報告書2014」の一部または全部を許可なく複写、複製、転載することを禁じます。
©2014 FUJITSU LIMITED